

第5回薬学教育調査・研究・評価委員会議事録

日 時 : 令和4年9月26日(月) 10:30~12:20
形 式 : オンライン会議 (Zoom)
場 所 : 日本薬学会長井記念館 事務局 (ホスト会場)
出席者 : 別記1
配布資料 : 別記2

1. 「薬学教育モデル・コア・カリキュラム」(素案) について (資料1)

1) 「薬学教育モデル・コア・カリキュラム 改訂の概要」(案) について

資料に基づき、改訂の前文について、議長より修正点の説明があった。

特に、「Ⅲ 各大項目の作成方針」部分は、すべてを修正したことの説明がなされた。記載内容として、項目ごとに ○作成方針 ○平成25年度改訂版との相違点、改訂の意図 ○内容の構成 ○「A 薬剤師として求められる基本的資質・能力」とのつながり ○評価の指針の作成方針 ○その他 の順としたことについて説明があった。

また、関連図が修正され、図1 『「A 薬剤師として求められる基本的資質・能力」とディプロマ・ポリシーについて』、図2 『大項目「B 社会と薬学」～「G 薬学研究」の相互の関連(イメージ図)』に修正されたことの説明が併せて行われた。

「主な意見」

○図2のイメージ図に表示した「F 臨床薬学」の説明文は、再度検討すべきではないかとの意見があった。

「その他の意見」

○医学や歯学と同様に「薬学教育モデル・コア・カリキュラムの考え方」に卒前卒後のシームレスな教育について盛り込むべきとの意見があった。薬学教育モデル・コア・カリキュラム(素案)の「4 薬学教育に携わる各関係者にお願いしたいこと」や「Ⅳ 大学独自の3つのポリシーの作成について」の項目において、卒前の段階で卒後に求められることを意識した教育を求める記載があるとの説明があった。

2) 「薬学教育モデル・コア・カリキュラム」の大項目について

資料に基づき、A～Gの各大項目の担当班長より説明が行われた。

3) 改訂モデル・コア・カリキュラム略語集について

文部科学省より略語集については薬学用語辞典等により適切な用語の確認作業を行ったとの説明があった。

4) 参考資料3 医師・歯科医師・薬剤師が関わる法令一覧

文部科学省よりコアカリ本体には列記していない関連法令を一覧に記載しているとの説明があった。

2. 「令和5年度概算要求 薬学関係抜粋」について（資料2.）

資料に基づき、文部科学省より薬学関係の令和5年度概算要求事項の説明があった。

3. その他

議長より、次回（第6回）では、今回のご意見等を踏まえ修正し、ほぼ完成された「薬学教育モデル・コア・カリキュラム（最終案）」をお示しする予定であるとの報告があった。

今後のスケジュールとしては、第6回終了後、薬学教育モデル・コア・カリキュラム改訂に関する専門研究委員会における審議を経て、薬学系人材養成の在り方に関する検討会において審議いただき、パブリックコメントへと進む予定であるとの説明があった。

なお、議長より最終案の提示後も文言等の細かな修正は予想されるので、修正することについてご承知おきいただきたいとの発言があった。

別記1 第5回薬学教育調査・研究・評価委員会出席名簿 (R4.9.26開催)

構成委員	氏名 (敬称略)	所属	出欠
専門研究委員会	本間 浩	薬学教育協議会 代表理事	○
	平田 収正	和歌山県立医科大学薬学部 教授	○
	小佐野 博史	帝京大学薬学部 名誉教授	○
	鈴木 匡	名古屋市立大学薬学部 教授	○
薬学教育協議会推薦	亀井 美和子	帝京平成大学薬学部 学部長	欠
	後藤 直正	京都薬科大学 前学長	○
	大津 史子	名城大学薬学部 教授	○
	伊東 明彦	帝京平成大学薬学部 教授	○
教科担当教員会議 メンバー代表	高橋 秀依	東京理科大学薬学部 教授	○
	小澤 孝一郎	広島大学薬学部 教授	○
	角山 香織	大阪医科薬科大学薬学部 准教授	○
	荒田 洋一郎	帝京大学薬学部 教授	○
日本薬剤師会	長津 雅則	日本薬剤師会 常務理事	○
	松浦 正佳	日本薬剤師会 理事	○
日本病院薬剤師会	石井 伊都子	千葉大学医学部附属病院 薬剤部長	○
	高田 龍平	東京大学医学部附属病院 薬剤部長	○
オブザーバー	井上 圭三	帝京大学 副学長	○
	小西 靖彦	静岡県立総合病院	○
	河野 文昭	徳島大学大学院医歯薬学研究部	○
		文部科学省高等教育局医学教育課	○
		厚生労働省医薬・生活衛生局総務課	○

別記2 配付資料

資料 1 : 「薬学教育モデル・コア・カリキュラム」大項目(素案)

資料 2 : 「令和5年度概算要求 薬学関係抜粋」